

株主・投資家のみなさまへ

# 第47期 中間事業報告書

平成16年1月1日から平成16年6月30日まで



コカ・コーラウエストジャパン株式会社



株主・投資家のみなさまへ .....	1
基幹ブランドの強化と新規分野への取り組み ...	3
トピックス .....	5
中間連結財務諸表 .....	7
経営指標の推移(連結) .....	11
会社概要/取締役・監査役・ 執行役員・グループ執行役員 .....	12
株式の状況 .....	13
株主メモ/株主優待制度 .....	14

# 株主・投資家のみなさまへ

## 中間期は増収増益を達成

今中間期における清涼飲料業界は、年初より総じて好天に恵まれたことおよび市場の牽引役である無糖茶の需要が回復したことにより、市場成長はプラスとなりました。しかし、依然として、競争の激しい量販店での販売増加やパッケージの多様化などコスト増加傾向に歯止めがかからず、清涼飲料各社の経営環境は相変わらず厳しい状況でした。

このような状況において、当社グループは、大いなる成長力と活力に満ち溢れるコカ・コーラウエストジャパングループに生まれ変わるべく策定した中期経営計画「皆革」の達成に向けて、当期を「確実に成果を実現する年」と位置付け、前期実施した足場固めをもとに「皆革」の効果を創出する活動にグループ一丸となって取り組んでまいりました。

その結果、連結ベースの当上半期の経営成績は、売上高が1,198億5千万円（前年同期比6.0%増）、営業利益が82億9千4百万円（前年同期比8.3%増）、経常利益が83億8千7百万円（前年同期比6.9%増）ならびに中間純利益は47億2千6百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

## 販売促進に向けた商品力、オペレーションの強化と生産ラインの改造

営業面では、「コカ・コーラC2」の世界先行発売や「爽健美茶」「アクエリアス」の新パッケージグラフィックの導入など、既存ブランドの強化をはかるとともに、特定保健用食品や栄養機能食品分野に対応する「the Wellness FROM Coca-Cola」ブランドの立ち上げやアルコールテイスト飲料の導入など新規分野への取り組みを開始しました。

次に、お客さま・お得意さまの特性に応じたきめ細やかな販売促進活動、新鮮な商品を提供し品切れをなくすための質の高いオペレーションや自動販売機のIT化推進など、競争優位性の確立に向けた活動を実施しました。



### 中期経営基本方針「<sup>かいかく</sup>皆革」

- ・ お客さま、お得意さまに必要とされるCCWJグループへの『皆革』
- ・ 飲料ビジネスをリードするCCWJグループへの『皆革』
- ・ 役割・機能を徹底追求するCCWJグループへの『皆革』
- ・ 社員と組織の活力を引き出すCCWJグループへの『皆革』
- ・ 社会と共生するCCWJグループへの『皆革』

### 中期経営基本政策

- ・ 新たなビジネスシステムの構築
- ・ CCWJグループ経営の強化
- ・ 人材マネジメント改革
- ・ 社会との共生

また、生産面では、今後のボトル缶商品の販売拡大を踏まえ、さらなる生産性の向上をはかるため、本郷工場の缶ラインをボトル缶ラインへ改造し、5月よりボトル缶の製造を開始しました。また、高品質で安心してお飲みいただける商品の提供をさらに徹底するための品質マネジメントの強化や、非生産時間の削減などによる徹底したコスト低減に取り組みました。

### 「皆革」推進で中期経営計画達成

今後の見通しについては、個人消費に回復の兆しが見えてきたものの、清涼飲料市場は引き続きメーカー間の激しい競争が展開されるものと予想されます。

このような厳しい経営環境の中、当社は、中期経営計画「皆革」2年目となる平成16年を「確実に成果を実現する年」とすべく、グループ体となって継続した活動を展開していきます。

また、こうした活動に加え、日本コカ・コーラ株式会社や全国のコカ・コーラボトラーとの協働活動にも継続して取り組んでいきます。

これらの活動により、今年度「確実に成果を実現する」を達成し、中期経営計画最終年度となる平成17年のさらなる飛躍に向けて、全力をつくします。

### 中間期および期末配当金を増額

平成16年12月期の配当金については、株主さま重視の観点から積極的な利益還元をめぐることにし、当期の中間配当金を1株当たり2円増配の20円、期末配当金(予想)を1株当たり2円増配の20円としました。これにより年間配当金(予想)は、1株当たり4円増配の40円となります。

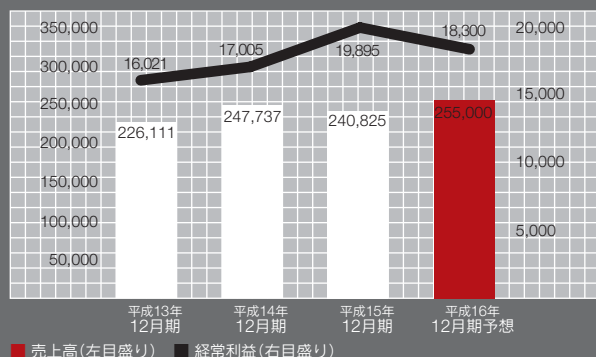
株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役  
社長兼CEO

末吉紀雄

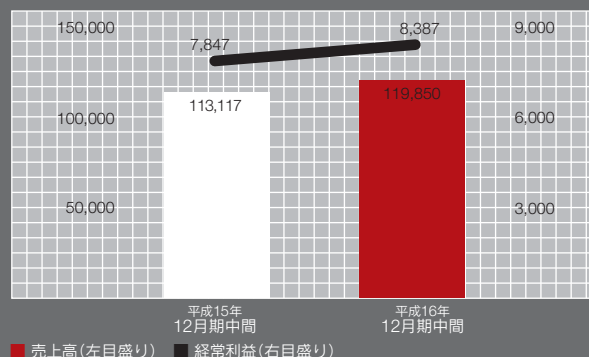
#### 連結売上高・経常利益(通期)

(単位:百万円)



#### 連結売上高・経常利益(中間期)

(単位:百万円)



## 基幹ブランドの強化と新規分野への取り組み

今中間期は、コカ・コーラ、ジョージア、アクエリアス、爽健美茶といった基幹ブランドの強化をはかるとともに、新規分野への取り組みを開始しました。

### カロリー半分以下、 おいしさキープ コカコーラ C2

平成16年6月7日、世界に先駆けて日本で「コカ・コーラ C2」が先行発売されました。

「コカ・コーラ C2」は、コカ・コーラだけが持つ特別なおいしさを求めながらもカロリーは控えたいと思う消費者のニーズに応えた次世代コカ・コーラです。

パッケージグラフィックは「コカ・コーラ レッド」をベースにおなじみのコカ・コーラ トレードマークを黒で配して、「新しさ」と「次世代感」を意識した力強いデザインを採用しました。「次世代のコカ・コーラ」という意味を「コカ・コーラ C2」（コカ・コーラ シーツー）のネーミングに込めています。

世界先行発売にあたり、広告キャンペーンに日本を代表するサッカー選手である中田英寿選手を起用し、過去最大規模のマーケティングプログラムを展開しています。

世界規模で導入する基幹ブランド「コカ・コーラ」の大型新製品を米本国以外で先行発売するのは、コカ・コーラ社史上初めてです。日本が「コカ・コーラ C2」の世界先行発売の市場に選ばれた背景には、日本市場の先進性と重要性に加え、営業、マーケティング、製造など様々な分野で協働体制を強化している日本のシステムの優れた市場実行力が、世界的に高い信頼と評価を得ていることがあります。

「コカ・コーラ C2」の導入により、「コカ・コーラ」の新たな成長基盤強化をはかります。

#### CM紹介



「中田のマイ・コーク」編

## ジョージア

平成15年9月より、新キャンペーン「気分はジョージア」を展開。今中間期においてもこのキャンペーンを継続強化しました。おかげさまで、消費者からの評価は大変高く、販売数量の拡大に貢献しています。

その販売数量は当社全体の約32%を占め、数あるブランドの中で、最も高い販売数量構成を誇る基幹ブランドです。なお、ジョージアの缶コーヒー市場における市場占有率は72%と圧倒的なNo.1です。

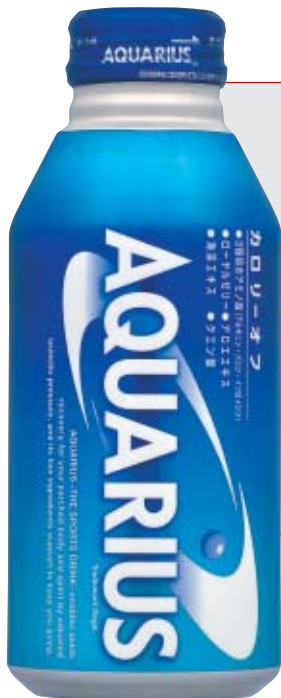


## 爽健美茶

平成16年2月より、爽健美茶はパッケージデザインを一新。同時に、新キャンペーン「So Beautiful. 爽健美茶」をスタートさせました。

さらに4月には、緑茶をベースにしたブレンド茶として、「緑茶ブレンド」も新発売。

販売数量は月を追うごとに順調に推移し、ブレンド茶の市場における爽健美茶の市場占有率は81%と圧倒的なNo.1となっています。



## アクエリアス

平成16年2月より、優れた水分補給機能に5つのカラダ健康成分をプラスし、さらにカロリーオフへと進化した新「アクエリアス」の発売に合わせ、新キャンペーン「BODY! ゴーゴー」を展開。幅広い人々が毎日の生活の中で自分らしく体を動かすことを応援し、気候が暖くなるにしたがって、その販売数量も拡大してきています。

なお、スポーツ飲料市場におけるアクエリアスの市場占有率は51%とNo.1です。

## 新規分野への取り組み

特定保健食品や栄養機能食品分野、アルコールテイスト飲料分野ならびにゼリータイプ商品分野への進出や、異業種とのコラボレーションによる商品導入にも取り組んできました。こうした取り組みにより新しい価値の創造をはかります。



# トピックス

## 新商品 (平成16年度の主な新商品)

### 基幹ブランド



### 新規分野



### その他



## プロモーション



▲爽健美茶ペアチケットプレゼント

Qoo(クー)1.5LPET ▶  
ニアパックプロモーション



▼アクエリアスオンパックプロモーション



## 地域社会貢献活動

コカ・コーラウエストジャングループは、「地域社会とともに」を基本姿勢に、「社会福祉支援」「スポーツ活動支援」「文化・教育活動支援」「地域イベント支援」など、地域社会に対する貢献活動を実施しています。

今中間期の活動内容としては、青少年の健全な育成を目的として、株式会社リコーおよびリコー三愛グループとともに佐賀県鳥栖市河内町に設立し、2年目を迎えた「市村自然塾 九州」において、今年からは女子の活動も展開しています。

また、今年も公立の盲・聾・養護学校へのパソコンなどの教材贈呈、小学校への一輪車贈呈、さらには「さわやかクラシックコンサート」開催や当社グループのカンパニースポーツクラブであるラグビー部員の指導による「さわやかラグビークリニック」の開催などの活動を行い、地域社会のみなさまにご好評をいただいています。

▼小学校への一輪車贈呈



▼市村自然塾 九州 基本理念「生きる力を大地から学ぶ」



▲北九州さわやかリサイクルセンターの運営

## 環境推進活動

コカ・コーラウエストジャングループは「環境好感度No.1企業へ」を目指し、地球温暖化対策への取り組みを基本とし、環境美化・環境保全・資源のリサイクルなどの活動を実施しています。

今中間期の活動内容としては、地球温暖化対策実行計画の策定や、グループ会社の西日本ピバレッジ株式会社における環境管理の国際規格であるISO14001の認証取得、北九州さわやかリサイクルセンターの本格的な稼働開始など「環境好感度No.1企業」の達成に向け、積極的な取り組みを推進しています。

なお、当社グループは、6月に福岡市より「平成16年度福岡市環境保全功労者」として表彰を受けています。



◀西日本ピバレッジ株式会社ISO14001登録証

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第46期 (平成15年12月期)	第47期中間 (平成16年12月期中間)
<b>&lt;資産の部&gt;</b>		
<b>流動資産:</b>		
現金及び預金	15,295	13,872
受取手形及び売掛金	13,175	13,321
有価証券	7,141	7,401
たな卸資産	12,570	11,987
その他	9,069	11,663
貸倒引当金	△ 118	△ 99
<b>流動資産合計</b>	<b>57,134</b>	<b>58,147</b>
<b>固定資産:</b>		
<b>有形固定資産:</b>		
建物及び構築物	18,852	18,339
機械装置及び運搬具	14,674	15,234
販売機器	17,740	20,263
土地	34,722	34,793
その他	992	1,266
<b>有形固定資産合計</b>	<b>86,982</b>	<b>89,897</b>
<b>無形固定資産:</b>		
連結調整勘定	118	76
その他	2,599	2,424
<b>無形固定資産合計</b>	<b>2,718</b>	<b>2,500</b>
<b>投資その他の資産:</b>		
投資有価証券	40,636	37,905
前払年金費用	13,306	16,275
その他	3,666	3,547
貸倒引当金	△ 264	△ 269
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>57,344</b>	<b>57,458</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>147,045</b>	<b>149,857</b>
<b>資産合計</b>	<b>204,180</b>	<b>208,005</b>

### 【流動資産】

流動資産は、前期末に比べ、10億1千3百万円増加し、581億4千7百万円となりました。これは主として、その他の中の未収入金が増加したことによるものであります。なお、たな卸資産については、在庫圧縮にグループをあげて取り組んだことにより、5億8千3百万円の減少となりました。

### 【固定資産】

固定資産は、前期末に比べ、28億1千1百万円増加し、1,498億5千7百万円となりました。これは主として、販売機器の増加ならびに退職給付制度変更による前払年金費用が増加したことによるものであります。

※前払年金費用

退職給付制度において、退職給付債務に対して年金資産が超過した場合、その超過額を前払いしているものとして取り扱うもの。



(単位:百万円)

科 目	第46期 (平成15年12月期)	第47期中間 (平成16年12月期中間)
<b>&lt;負債の部&gt;</b>		
<b>流動負債:</b>		
支払手形及び買掛金	8,950	8,341
1年以内に返済する長期借入金	203	203
未払法人税等	2,924	2,447
未払金	5,426	7,515
設備支払手形	667	197
その他	5,681	8,151
<b>流動負債合計</b>	<b>23,853</b>	<b>26,857</b>
<b>固定負債:</b>		
退職給付引当金	3,394	3,215
役員退職引当金	323	315
その他	6,877	8,207
<b>固定負債合計</b>	<b>10,595</b>	<b>11,738</b>
<b>負債合計</b>	<b>34,449</b>	<b>38,596</b>
<b>&lt;少数株主持分&gt;</b>		
少数株主持分	4,276	4,300
<b>&lt;資本の部&gt;</b>		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	35,399	35,399
利益剰余金	122,372	125,564
その他有価証券評価差額金	411	791
自己株式	△ 7,960	△ 11,879
<b>資本合計</b>	<b>165,454</b>	<b>165,108</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>204,180</b>	<b>208,005</b>

### 【流動負債・固定負債】

流動負債は、前期末に比べ、30億4百万円増加し、268億5千7百万円となりました。これは主として、本郷工場ボトル缶ライン新設に伴い、未払金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前期末に比べ、11億4千3百万円増加し、117億3千8百万円となりました。

### 【資本の部】

資本合計は、前期末に比べ、3億4千6百万円減少し、1,651億8百万円となりました。これは主として、中間純利益により、利益剰余金が増加したものの、資本政策の一環として自己株式の取得を行ったことによるものであります。

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第46期中間 (平成15年12月中間)	第46期 (平成15年12月期)	第47期中間 (平成16年12月中間)
売上高	113,117	240,825	119,850
売上原価	62,310	132,995	66,036
売上総利益	50,807	107,829	53,814
販売費及び一般管理費	43,148	88,191	45,519
営業利益	7,658	19,638	8,294
営業外収益	599	1,100	563
受取利息	169	254	137
受取配当金	25	35	26
不動産賃貸料	147	294	150
その他	257	516	250
営業外費用	411	843	471
支払利息	16	22	4
有価証券売却損	21	—	44
固定資産売却損	161	441	230
不動産賃貸原価	95	188	75
その他	117	191	116
経常利益	7,847	19,895	8,387
特別利益	231	231	64
固定資産売却益	231	231	64
特別損失	820	2,141	210
固定資産売却損	45	45	60
水害損失	—	43	—
投資有価証券売却損	31	31	—
固定資産除却損	—	17	—
投資有価証券評価損	87	97	—
ゴルフ会員権等評価損	177	189	4
子会社等再編費用	96	753	—
商品廃棄損	269	269	—
商品評価損	—	112	—
香料成分問題対策損失	113	113	—
品質問題対策損失	—	466	—
新紙幣対応費用	—	—	145
税金等調整前中間(当期)純利益	7,257	17,985	8,241
法人税、住民税及び事業税	932	3,768	2,398
法人税等調整額	2,251	5,532	1,102
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 79	△ 695	13
中間(当期)純利益	4,152	9,380	4,726

### 【売上高】

売上高は、前中間期に比べ、67億3千2百万円増加し、1,198億5千万円となりました。これは、コカ・コーラ、ジョージアをはじめとした基幹ブランドを中心に販売数量が伸びたことによるものであります。

### 【営業利益・経常利益】

営業利益は、前中間期に比べ、6億3千5百万円増加し、82億9千4百万円となりました。これは販売手数料および退職給付費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、販売数量増に伴う売上総利益の増加がそれを上回ったことによるものであります。

営業利益の伸びを受け、経常利益は前中間期に比べ、5億4千万円増加し、83億8千7百万円となりました。

### 【中間純利益】

中間純利益は、前中間期に比べ、5億7千3百万円増加し、47億2千6百万円となりました。

## 中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科 目	第46期中間 (平成15年12月期中間)	第46期 (平成15年12月期)	第47期中間 (平成16年12月期中間)
<b>&lt;資本剰余金の部&gt;</b>			
資本剰余金期首残高	35,399	35,399	35,399
資本剰余金増加高	—	—	0
自己株式処分差益	—	—	0
資本剰余金中間期末(期末)残高	35,399	35,399	35,399
<b>&lt;利益剰余金の部&gt;</b>			
利益剰余金期首残高	115,771	115,771	122,372
利益剰余金増加高	4,152	9,380	4,726
中間(当期)純利益	4,152	9,380	4,726
利益剰余金減少高	1,433	2,779	1,533
配当金	1,392	2,738	1,503
役員賞与	41	41	30
利益剰余金中間期末(期末)残高	118,490	122,372	125,564

### 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間期に比べ、20億6千1百万円増加いたしました。これは主として、前期に移籍一時金の支払いを行ったことにより、営業活動によるキャッシュ・フローが低い水準であったためであります。

### 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間期に比べ、18億3千7百万円支出が減少いたしました。これは主として、効率的な資金運用を目的とした運用資産の見直しに伴い、保有している公社債投資信託の解約を行ったことにより、収入が増加したことによるものであります。

### 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、前中間期に比べ、43億3千2百万円支出が減少いたしました。これは主として、資本政策の一環として実施している自己株式の取得規模が減少したこと、また、前期には、転換社債の償還による支出が発生したことによるものであります。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

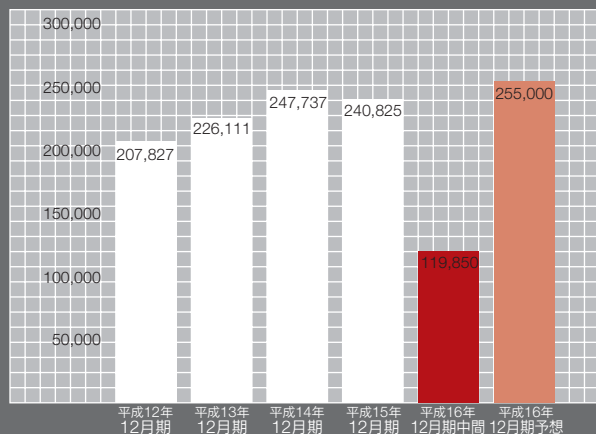
(単位:百万円)

科 目	第46期中間 (平成15年12月期中間)	第46期 (平成15年12月期)	第47期中間 (平成16年12月期中間)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,694	18,423	9,755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,591	△20,852	△ 6,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,754	△11,107	△ 5,422
現金及び現金同等物の減少額	△10,651	△13,536	△ 2,420
現金及び現金同等物の期首残高	35,406	35,406	21,869
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	24,754	21,869	19,449

## 経営指標の推移(連結)

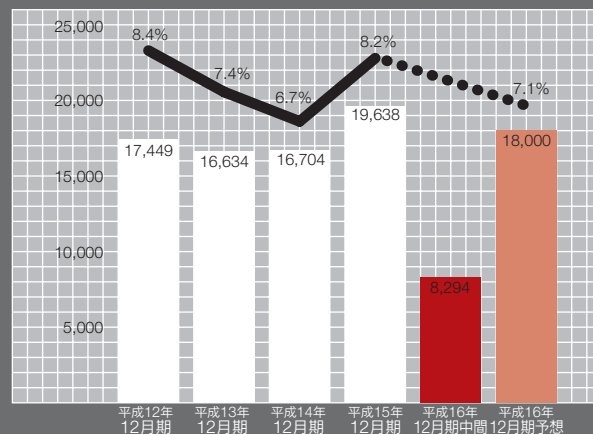
### 売上高

(単位:百万円)



### 営業利益/売上高営業利益率

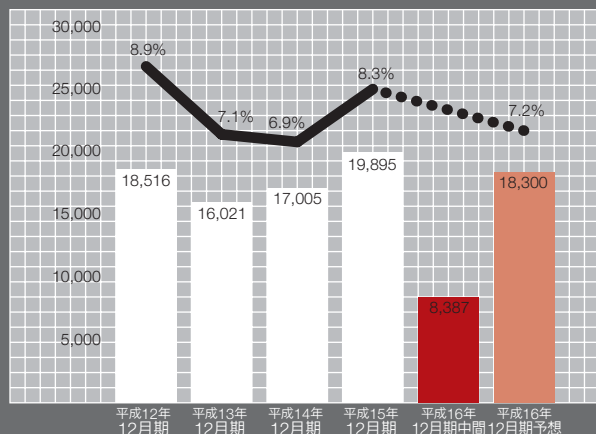
(単位:百万円/%)



■ 営業利益 ■ 売上高営業利益率

### 経常利益/売上高経常利益率

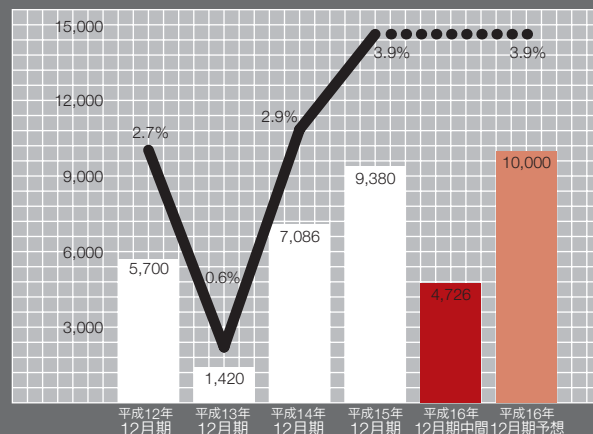
(単位:百万円/%)



■ 経常利益 ■ 売上高経常利益率

### 当期純利益/売上高当期純利益率

(単位:百万円/%)



■ 当期純利益 ■ 売上高当期純利益率

# 会社概要 (平成16年6月30日現在)

商号: コカ・コーラウエストジャパン株式会社  
本社所在地: 福岡市東区箱崎七丁目9番66号  
設立: 昭和35年12月20日  
資本金: 152億3千1百万円  
従業員数: 1,807名

主な事業内容: コカ・コーラ、スプライト、ファンタおよびジョージア等の飲料の製造・販売  
上場証券取引所: 株式会社東京証券取引所(市場第一部)  
株式会社大阪証券取引所(市場第一部)  
証券会員制法人福岡証券取引所

## 取締役・監査役・執行役員・グループ執行役員 (平成16年6月30日現在)

### 取締役

代表取締役	久保長	会長
代表取締役	末吉紀雄	※
取締役	新見泰正	※
取締役	浜田広	株式会社リコー 最高顧問
取締役	手島忠	株式会社ニチレイ 相談役
取締役	魚谷雅彦	日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長
取締役	大戸武元	株式会社ニチレイ 代表取締役会長
取締役	井上雄介	九州カード株式会社 代表取締役会長
取締役	有川貞広	株式会社リコー 執行役員

※印の者は、執行役員を兼務しております。

### 監査役

常任監査役	浜田鴻之介	常勤
常任監査役	中川龍二	常勤
監査役	平川達男	株式会社リコー 代表取締役副社長
監査役	大内田勇成	株式会社福岡シティ銀行 代表取締役専務

### 執行役員

社長兼CEO	末吉紀雄	
副社長	新見泰正	社長補佐(コンプライアンス・特殊プロジェクト担当)、 企業倫理担当・環境推進室・品質保証室担当
専務執行役員	森井孝一	社長補佐(菅革推進委員会担当)兼菅革推進室長、広報室・ コカ・コーラウエストジャパンユニバーシティ・菅革推進室担当
専務執行役員	森田聖	営業企画統括部長
専務執行役員	原田忠継	経営管理統括部長
専務執行役員	柴田暢雄	総務統括部長兼人事部長

常務執行役員	桂淳治	フードサービス営業統括部長
常務執行役員	佐古幸男	ペンディング事業統括部長
常務執行役員	野見山昌三	コンビニ・リテール営業統括部長
常務執行役員	池龍彦	チェーンストア営業統括部長
執行役員	山崎正雪	プロジェクト担当部長
執行役員	三宅益男	代理店営業部長
執行役員	瀬戸俊憲	パートナー推進部長
執行役員	小川速雄	オペレーター担当部長
執行役員	津川勝造	営業企画部長
執行役員	佐藤繁次郎	ビジネスシステム部長
執行役員	時枝直剛	業務部長

### グループ執行役員

グループ上席執行役員	末安剛明	西日本ビバレッジ株式会社 代表取締役・社長
グループ上席執行役員	河辺捷義	ロジコムジャパン株式会社 代表取締役・社長
グループ上席執行役員	合原昭	コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社 代表取締役・社長
グループ上席執行役員	三宅俊樹	鷹正宗株式会社 代表取締役社長
グループ上席執行役員	後藤正純	西日本カスターサービス株式会社 代表取締役・社長
グループ上席執行役員	木原伸司	三菱コカ・コーラボトリング株式会社 取締役・専務執行役員
グループ上席執行役員	山崎裕二	コカ・コーラウエストジャパンペンディング株式会社 代表取締役・社長
グループ上席執行役員	小田信爾	ウエストジャパンサービス株式会社 代表取締役社長
グループ上席執行役員	磯部満夫	コカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社 執行役員
グループ上席執行役員	柴田卓男	コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社 取締役・常務執行役員
グループ執行役員	萩原幹才	コカ・コーラビバレッジサービス株式会社 標準システム推進部長
グループ執行役員	福田恒夫	コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社 取締役・執行役員
グループ執行役員	浜崎義明	コカ・コーラウエストジャパンペンディング株式会社 取締役・常務執行役員

## 株式の状況 (平成16年6月30日現在)

■ 会社が発行する株式の総数: 270,000千株

■ 発行済株式の総数: 82,898千株

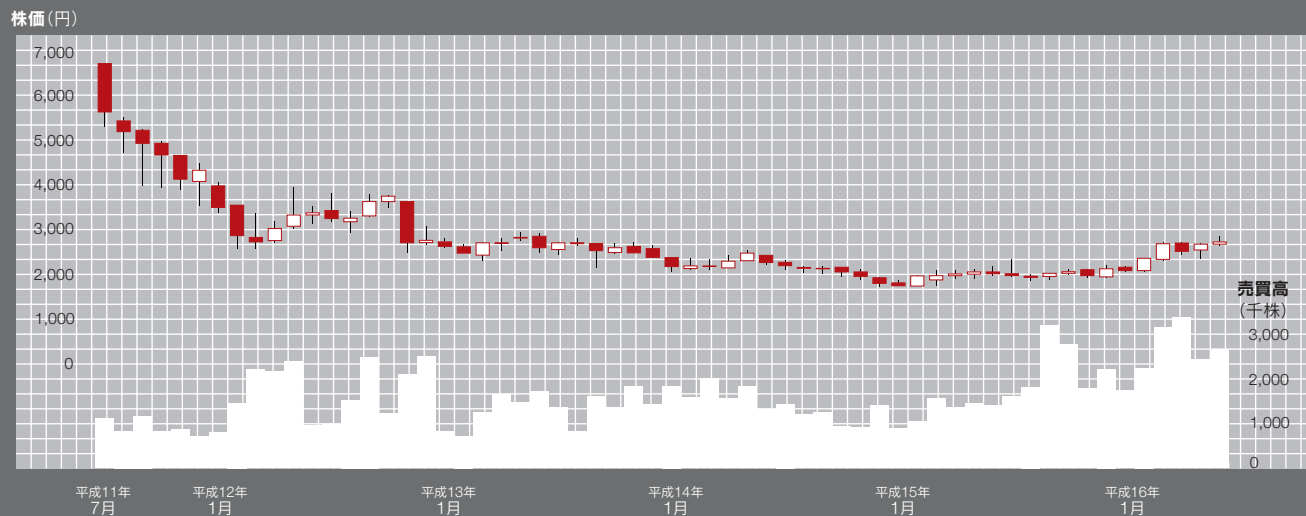
■ 株主数: 13,826名

■ 大株主:

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
株式会社リコー	16,792	21.7
財団法人新技術開発財団	5,294	6.8
コカ・コーラホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,074	5.3
株式会社福岡シティ銀行	3,641	4.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,344	4.3
メロンバンク トリーティー クライアンツ オムニバス	2,889	3.7
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,113	2.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,907	2.5
昭和炭酸株式会社	1,650	2.1
高倉 一恵	1,338	1.7

(注) 当社は、自己株式5,219千株を保有しておりますが、上記の表には記載せず、議決権比率の算定にも含めておりません。

### 最近5年間の株価および株式売買高の推移



## 株主メモ (平成16年6月30日現在)

**決算期** 毎年12月31日

**定時株主総会** 毎年3月

**株主確定基準日**

- ・定時株主総会、利益配当金 12月31日
- ・中間配当金 6月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

**名義書換代理人** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

**同事務取扱場所** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
(〒540-8639)  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(郵便物送付先)** 東京都府中市日鋼町1番10  
(〒183-8701)  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(住所変更等用紙のご請求)** ☎ 0120-175-417

**(その他のご照会)** ☎ 0120-176-417

**同取次所** 住友信託銀行株式会社 全国各支店

**公告掲載新聞** 日本経済新聞

貸借対照表および損益計算書は、決算公告に代えて、当社ホームページに掲載しております。  
**([http:// www.ccwj.co.jp/ir/kessankoukoku.html](http://www.ccwj.co.jp/ir/kessankoukoku.html))**

## 株主優待制度 (平成16年6月30日現在)

**コカ・コーラギフト券1枚で、  
500ml PET製品4本と  
お引き換えいただけます。**



毎年6月30日現在および12月31日現在の100株以上ご所有の株主さまに対し、ご所有株式数に応じて右記のとおり「コカ・コーラギフト券」をそれぞれ同年9月頃および翌年4月頃に贈呈いたします。  
「コカ・コーラギフト券」1枚でコカ・コーラ社製品(500ml PET製品(一部の製品を除きます))4本とお引き換えいただけます。

贈呈基準		優待内容	贈呈時期
基準日	ご所有株式数		
6月30日	100株以上 500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚 (1,764円相当)	同年9月頃
	500株以上 1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚 (2,352円相当)	
	1,000株以上 5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚 (3,528円相当)	
	5,000株以上	コカ・コーラギフト券12枚 (7,056円相当)	
12月31日	100株以上 500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚 (1,764円相当)	翌年4月頃
	500株以上 1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚 (2,352円相当)	
	1,000株以上 5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚 (3,528円相当)	
	5,000株以上	コカ・コーラギフト券12枚 (7,056円相当)	



コカ・コーラウエストジャパン株式会社  
〒812-8650 福岡市東区箱崎七丁目9番66号  
TEL (092)641-8581

ホームページアドレス  
<http://www.ccwj.co.jp/>

予想および見直しに関して

この中間事業報告書には、将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見直しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また経済動向、飲料業界における激しい競争、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。このため実際の業績は当社の見込みとは異なるかもしれないことをご承知おきください。

**R100**  
古紙配合率100%再生紙を  
使用しています

 **PRINTED WITH  
SOY INK**  
この冊子は環境にやさしい大豆インキを  
使用しています